

## 1月の市場の動き

- 欧州株式は総じて上昇。米中の貿易摩擦を巡る交渉が進展するとの期待から市場心理が改善。英国株式は英ポンド高傾向が輸出関連株の重石となり伸び悩み。
- ユーロはユーロ圏内の景気減速懸念の高まりを背景に下落。英ポンドは英国がEU(欧州連合)離脱期限の延長に向かうとの観測が高まり上昇。

【1月のマーケットデータ】		1月末	12月末	騰落率	最低	最高
株式	ドイツ DAX(ポイント)	11,173.10	10,558.96	5.82%	10,416.66	11,281.79
	英国 FTSE100(ポイント)	6,968.85	6,728.13	3.58%	6,692.66	6,970.59
為替	ユーロ/円	125.15	127.00	▲1.46%	122.70	125.15
	英ポンド/円	142.88	140.46	1.72%	136.01	144.35
債券	ドイツ 10年国債利回り	0.149%	0.242%	▲0.093	0.149%	0.279%
	英国 10年国債利回り	1.219%	1.277%	▲0.058	1.194%	1.353%

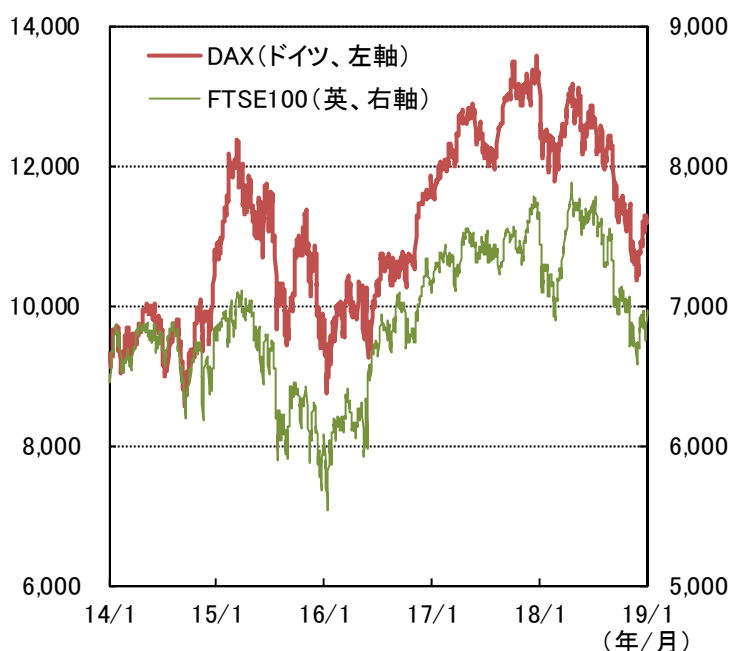
※為替は本邦営業日ベース、為替の騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高、債券の騰落率は利回りの変化幅

## 各市場の推移

## 株式市場

(2014年1月末～2019年1月末、日次)

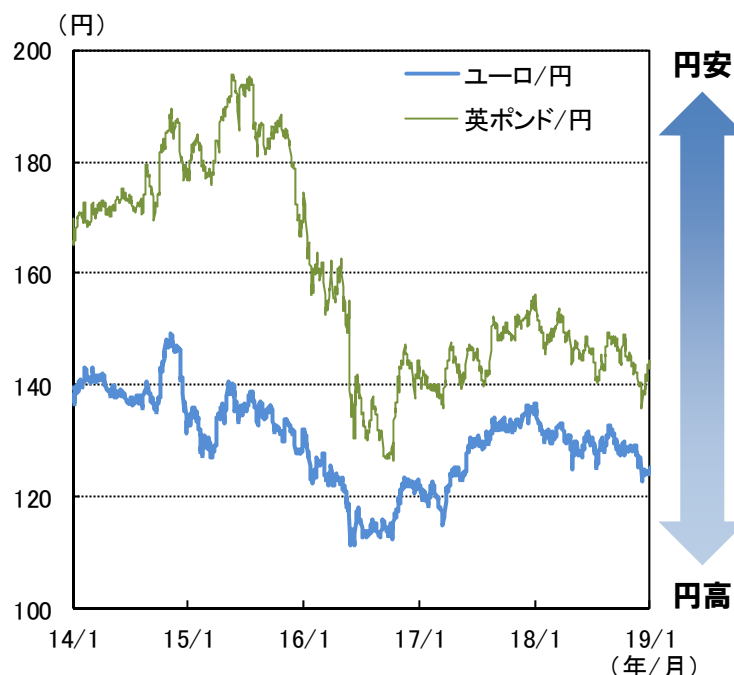
ドイツは6カ月ぶり、英国は4カ月ぶりに月間で主要株価指数が上昇した



## 為替市場

(2014年1月末～2019年1月末、日次)

景況感指標の悪化など域内の景気減速懸念の高まりがユーロの重石となった

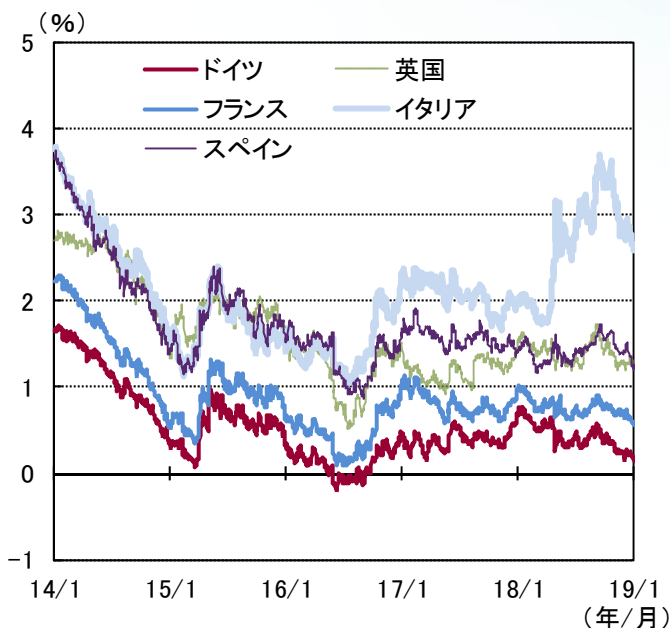


(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

## 欧州各国の債券市場

(2014年1月末～2019年1月末、日次)

域内の景気減速懸念の高まりからユーロ圏の債券利回りは総じて低下



※各国の10年国債利回りを使用

## ご参考：DAXの実績PER<sup>\*1</sup>とPBR<sup>\*2</sup>

(2009年1月末～2019年1月末、日次)

DAXの実績PERは過去10年平均から見て割安、PBRは平均を下回る水準にある



\*1:実績PER(株価収益率) = 株価 ÷ 1株当たり純利益  
 \*2:PBR(株価純資産倍率) = 株価 ÷ 1株当たり純資産額  
 ※実績PER10年平均、PBR10年平均はグラフ期間の日次データを使用して算出

## 今後の見通し

ユーロ圏では景況感指標の悪化が続いており、景気減速懸念が高まっています。英国ではEU離脱問題を巡る不透明感が、引き続き個人消費や企業の経済活動の抑制要因となりそうです。

<株式>:ユーロ圏は域内の景気減速懸念、英国はEU離脱問題が株価の重石となっており、当面は米国株式の動向や米中の通商協議の行方など外部要因に左右される展開が続く見込みです。

<為替>:ユーロは域内の景気減速が懸念される一方、米国の利上げ打ち止め観測の高まりから、もみ合い推移が続く見込みです。英ポンドはEU離脱問題を巡る不透明感から、不安定な動きが続く見込みです。

### 【2月の予想レンジ】

ドイツ DAX(ポイント)	10,400－12,000	ユーロ/円	117円－129円
英国 FTSE100(ポイント)	6,500－7,400	英ポンド/円	133円－153円

## 主要経済指標・イベント

日付	国・地域	経済指標・イベント	今回	前回
1/7	ユーロ圏	小売売上高(11月)(前月比)	+0.6%	+0.6%
1/14	ユーロ圏	鉱工業生産指数(11月)(前月比)	▲1.7%	+0.1%
1/17	ユーロ圏	消費者物価指数(12月)(前年同月比)	+1.6%	+1.9%
1/24	ユーロ圏	総合PMI(購買担当者指数)(1月)(改定値)	50.7	51.1
1/11	英国	鉱工業生産指数(11月)(前月比)	▲0.4%	▲0.5%
1/16	英国	消費者物価指数(12月)(前年同月比)	+2.1%	+2.3%
1/18	英国	小売売上高(12月)(前月比)	▲0.9%	+1.3%

※記載内容は資料作成時点のものであり、今後変更になる場合があります  
 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

#### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。